

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「幾多の困難を乗り越え」

「コロナ禍での復興を目指し」

「令和2年7月豪雨」から約3ヶ月が経過しようとしています。

観測史上最大の降水量が相次いだ豪雨により、全国での農林水産関連被害額は8月27日時点で1947億円に上りました。豪雨災害において、農林水産省では何度も災害対策本部を開き復旧支援策を議論しました。私も被災地の現状と農業者の営農再建を目指すため、生産現場の声をしっかりと訴えてきました。

今回の対策では、生活・生業支援パッケージの措置としまして、被災された農業者の皆さまの経営再開に向け総合的に支援します。

また、従来の復旧対策は現状復旧が原則とされてきましたが、今回の支援策より被災地域の災害再発防止の観点を踏まえ、農地等の復旧や生産性向上に向けた被災農地周辺の農地も含めた大区画化・畑地化などの耕作条件の改善を行う改良復旧が認められました。災害による離農・廃業などが起きないように引き続き主力を尽くしてまいります。

台風シーズンを迎え、引き続き油断できない時期でもあります。いつ・どこかで大規模な災害が発生するか予想でき

ません。被害を最小限に食い止めるため、農家の皆さまは早めの対策を心がけてください。

「長雨から一変、異例の暑さ」

長雨、曇天続きの影響で農作物の生育への影響が懸念されます。日照不足により、水稻はいもち病の発生や分けつ不足が心配され、出来秋の作柄も大変心配されます。野菜も生育不良や遅れにより平年に比べ高騰で推移しているようです。

一方で、梅雨明けから全国的に酷暑が続く、熊本でも連日のように40℃に迫る気温が続いており、身の危険を感じるほどの暑さです。日中、外での作業が続く農業者の皆さまは熱中症対策を引き続き万全に行ってください。

いまだに感染拡大している新型コロナウイルスと連日続く猛暑。コロナ対策と熱中症対策のダブルパンチで皆さまへの肉体的・精神的負担は計り知れないものです。この困難を国民全体で乗り切り、農業・農村を活性化させるよう引き続き取り組んでまいります。



▲養蜂議員連盟設立総会にて事務局長を拝命

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「国家戦略特区による株式会社」

農業参入の5年延長は問題だ

「農外企業による農業経営への参画の動きは、国を壊しかねない」

「地域の農業を守る」家族の生業を支える「こと」に、農業者の皆さまも、JAの皆さまも全力をあげておいでです。

しかし、今、国家戦略特区ワキнгグループが進めようとしている農外の企業による農業経営への大々的な参画の動きは、国を壊しかねない心配があります。

平成28年から、兵庫県の養父市において、農外の株式会社による農地の取得と農業経営が進められてきていました。当時、私が事務局長をしていた、参議院自民党の農業・農協研究会は、真っ先に、「絶対容認できない」と決議し申し入れていました。その後、衆議院・参議院でも反対の決議を行いました。

こうした経緯があるにもかかわらず、国家戦略特別区域諮問会議は、農外の企業11社による農地の取得と農業生産を進めたのです。ところで、参画した企業の営農面積は23・9ヘクタールで、農地所有面積はわずか1・6

ヘクタールにすぎません。にもかかわらず、さらに5年の期限を延長するとしているのです。一体、我が国の農業・農村をどうへ持つて行こうとしているのか、危惧せざるを得ません。

地域によつては、もつ担い手がないということなどで、農地は荒廃し、その活性化のために農外の企業が参入して、地域の農業生産を守るのだと公言してはばからないのですが、しかし、これら企業は、本当に、地域と農業生産を守るのか疑問です。農業生産を維持し、地域を守るのは、農業者とJAなど地域の関係者であり、地域の住民や県民・国民に共感と支持を得る取り組みが重要なことです。

世界の各国においても、地域の農業者を中心とする関係者が、農業生産で所得を実現し、地域を維持し、国と食を支えています。それを農外の株式会社や、まるで余技で、農地取得による将来の利得を目指して、農業に参画するということに、農業を支え、地域を支え、国民食料と経済の安定に貢献するという理念があるのか、疑問でなりません。

国は、改めて、この国の美しい景観と国土を守る存在である農業者の努力を認識し、国政の基本に「農業者」と「地域」と「農業生産」を位置づけるべきなのです。

参議院議員



Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや

活 動 報 告

令和2年7月豪雨からの
復旧・復興に尽力します

新型コロナ対策に全力で
立ち向かっています

より一層農政に多様な
農家の声を反映させます



JA熊本中央会・連合会の会合で挨拶を行う



日本女子大学より飼養衛生管理に
ついて要請



日本農業大学より提言をふまえた
意見交換



岸田文雄自民党政調会長と
コロナ支援策について対談



7月豪雨災害視察
(福岡県JAくるめ管内)



熊本県内JAを巡回



藤木牧場で視察を受入れ